



編集後記






令和元年は、記録的な大雨をもたらした台風 19 号をはじめ、8 月の九州北部豪雨、台風 15 号、台風 21 号など、豪雨・洪水により甚大な自然災害が多い年でした。

リビンマッチ調べによりますと、「いつ被害に遭ったのか」を尋ねたところ、『東日本大震災』(20.0%)、『令和元年台風 19 号』(16.0%)、『阪神・淡路大震災』(12.0%)、『令和元年台風 15 号』(8.0%)、『大阪北部地震』『平成 25 年台風 26 号』(共に 4.0%)、『その他』(42.0%)となり令和元年の台風だけでも 24.0%の人が被害に遭われています。ですが、防災対策は「まだしていない」と回答した人が 53%もいました。防災意識の低さがうかがわれます。

今後、南海トラフ地震や首都直下地震など事前予測が難しく、さらに大きな被害が必至です。今一度防災への意識を高め、しっかり備えたいものです。

《2019 年に起きた地震、雨風など主な自然災害》

- 2019 年 1 月 熊本県熊本地方で発生した地震
 - 2019 年 2 月 北海道胆振地方中東部で発生した地震
 - 2019 年 5 月 宮崎日向灘で発生した地震
 - 2019 年 5 月 千葉県南部で発生した地震
 - 2019 年 6 月 山形県沖で発生した地震
 - 2019 年 8 月 福島県沖で発生した地震
 - 2019 年 8 月 令和元年九州豪雨 (激甚災害に指定)
 - 2019 年 9 月 令和元年台風 15 号 (激甚災害に指定)
 - 2019 年 10 月 令和元年台風 19 号 (非常災害指定)
 - 2019 年 11 月 新型コロナウイルス感染症 (世界的パンデミック)
- 
- 



また、令和元年末に初めて確認された新型コロナウイルスが、猛威を振るい世界的大流行 (パンデミック) となっています。国内でも感染者が増加の一途をたどり、人的被害が各地域で広がりを見せています。

また各種イベント、集会等が相次いで中止、外出の自粛等により社会経済にも大打撃を与えています。一日でも早く終息することを願うばかりです。

広報部長 矢田部 徹

